

事業所名 グループホーム ゆらり

作成日：平成 30年 4月 3日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	60	利用者様の入居期間と比例して重度化が進行し、現状では戸外の行きたいところへ出掛ける事ができる利用者様が少なくなっている。	外出支援に負けないくらい施設内で楽しい時間を過ごす事ができる様に支援する。	花や野菜を作ったり、生き物を飼ったり利用者様が関心を持てる様な支援をしていく。また、レクリエーションや行事を工夫し一人ひとりの有する能力を引き出し楽しみながら認知及びADL低下の予防に努める。	6ヶ月
2	57	職員とゆったり過ごせているが、ゆったりと過ごせている中で認知症状の進行に伴い物事に関心が持てる利用者様が少なくなっている。	自己にて歌が歌える人も歌えない人も共に懐かしい歌を歌ったり聞いたり、過去の事を思い出すことにより、認知症状の進行を少しでも遅らせ、日々の笑顔が増える様に支援する。	利用者様がよく聞いた歌や曲を入手し、一緒に聞いたり口ずさむ機会を増やす。回想法などをもちいることにより昔話をし、脳の活性化を計る。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。